

北海道ラグビーフットボール協会
札幌支部「セイフティ＆コーチング研修会」開催報告

北海道ラグビー指導者の皆さまにおかれましては、日頃よりラグビー指導にご尽力をいただき心より感謝申し上げます。

本研修会は札幌支部を皮切りに道内 10 支部での開催です。

令和 7 年 4 月 5 日（土）11:30 より、ウイステリアホールを会場に、札幌支部協会総会後の時間をいただき、今年度 1 回目の標記研修会を実施いたしました。

事前告知通り、午後 11 時 30 分からの開催となったため、総会終了から時間をおいての開始となりました。次年度は総会終了後速やかに開始できるよう対応したいと思います。

本研修会は、「北海道ラグビー指導の現場から、「スポーツハラスメント」や「不適切な指導」等を排除し、「プレーヤーズセンタード」に基づいたコーチの資質向上を図り、北海道ラグビーの普及発展を進める。」ことを企図して開催いたしました。

指導者の皆さまには、現在、スポーツ指導の現場で求められている情報等を共有し、指導の現場に活かしていただきたいと思います。

対象は全指導者ですが、特に普及育成レベルの各チームの各グレードから少なくとも 1 名は参加いただきチーム内で共有してもらいたいとご案内申し上げました。

当日は、40 名余りの指導者に参加いただきました。

内容は、①スポーツハラスメントや不適切な指導等、②安全対策制度等、③指導者として必要な資質に係るグループワークの 3 つを柱に行いました。

札幌支部からは終了後アンケートに約半数の 21 名の方々から回答があり、本研修に対する評価は 3.7 点（4.0 満点）という高評価をいただきました。「指導について改めて考える機会になった」「グループワークにより他の指導者・チームの考えを知ることが有意義であった」など肯定的なコメントが多くあったことは本研修の成果であったと思います。

加えて、今後の指導者研修の必要性や指導者が求めていることなどについて知る機会となりました。今後活かしていきたいと思います。

参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

文責 北海道ラグビーフットボール協会コーチ委員長 山内宣明



